

<学期末学年PTA>

本日は週末の忙しいところ足を運んでいただきありがとうございます。また2/8から英語の橘川教諭が体調を崩し休んでいることをご心配をおかけしております。教科書は終了していますが次年度あらためて復習し影響が出ないようにします。

今年度は、コロナの影響で突然の臨時休校から始まり、手探りの中で、「何ができるか」を考え、メールを使った課題の提出、動画を使った体操指導や授業、「すらら」を使ったオンライン学習を取り入れました。

学校が再開され、感染対策のため様々な制約がある中、「どうすればできるか」を考えいろいろな工夫をしてきました。授業の様子や文化発表会などの行事は動画配信で保護者の皆さんにお伝えしてきました。

キャリアインターンシップ、起業体験活動、地域伝統文化体験については、保護者の皆さんや地域の方々に理解をいただき、感染対策を工夫しながら職場体験をすることができました。また起業体験で取り組んだ「秋保の交通を考える全校授業」では、今秋保の抱えている交通インフラについて講師の話を聞きながら秋保の将来像を考えました。子どもたちに1000円分のチケットを配付し、体験してもらっています。

このコロナ禍、仙台市中心部との教育格差が生じています。あとで実力テストの結果で詳しい報告があります。中心部には塾があり学校が休校でもいろいろな形で学習を支援する環境が整っています。それをカバーするために「すらら」のオンライン学習を取り入れました。保護者の皆さんにもIDを発行しスマホで学習の様子をみてもらい声かけもお願いしました。

卒業生はタブレットがない状況でパソコン室を使って9月から毎日夕方補習を行いました。1,2年生は1月から一人1台のタブレットを配付したので家に持ち帰って学習できる環境が整いました。今年度取り組んでいるブレンド型反転授業、家で予習して授業で深く考える場面を作ることを継続して取り組んでいきます。「すらら」は、来年度使えるように画策している最中です。何とか保護者の皆さんにもご協力いただきながら継続したいと考えています。